



修学研修旅行で学んだこと

5月10～12日、修学研修旅行に行ってきました。あいにくの天気でしたが、雨の京都の景観もとても美しいものでしたね。誰ひとり大きな怪我や病気なく、また誰ひとり嫌な思いをすることなく元気に帰ってくることができました。一生の思い出に残る3日間となった人も多いと思います。『修学研修旅行について』作文（抜粋）を紹介します。

1組 我妻 悟くん

僕が一番印象に残っている場所は二条城です。タクシーの運転手さんが1つ1つ詳しく解説してくれました。最初に見たふすまのトラとヒョウは、昔の日本人が想像で書いたと言っていました。想像で書いたわりにはとてもきれいでした。その部屋は徳川が客人を招いた時に最初に通す場所だそうで、徳川はスゴイんだと印象づけるのだと言っていました。また、驚いたのは廊下です。どのような歩き方をしても「キシキシ」と音が鳴るのです。侵入者が入った時にわかるようになっていてと言っていました。昔の職人の人たちはすごい技術を持っていたんだなと思いました。また、庭園もすごかったです。その他にも色々な場所に行きました。どこも教科書だけでは伝わらない歴史がたくさんありました。とても貴重な時間を過ごすことができました。

2組 本間玲依奈さん

あふれるほどの人、ぶつかりあい音をたてるカサ。目の前に広がったそんな風景に圧倒されながら、大きな水玉のカサを持ったかわいらしいおじいちゃん運転手さんと共に私達のグループは「清水寺」をめぐった。拝観料を払う価値なんてないだろうと思っていたが、すごく価値あるものだった。広い広いベランダみたいな所があって、それはすごく高い位置にあった。昔、ここから飛び降りるのが流行ったのだと運転手さんが教えてくれた。何人も人が命を落としているので少し前は飛び降りないように柵があったらしい。ただ景色が良く見えなくなるので今は外されたのだと聞いた。身震いがした。

すごく仲良くなれたタクシーの運転手さん。最後に「またいつかね。」と言ってくれた。すごく胸があつくなった。言葉ではあらわせない何か大事なものを学べたと思う。すごく良い経験だった。

3組 岡田智陽くん

京都では、金閣寺に朝一番で行った。世界遺産の石碑がとてもすばらしく見えた。中に入ってみると、庭の中に池があって金閣が浮いているように最初見えた。しかし、良く見ると教科書にのっている金閣よりずっと輝いて見え、タクシーの運転手によると金箔が20キロもあるということでした。

清水寺では、金閣や銀閣のように、店が中にあるだけでなく、清水寺に通じる道に店があって車がないう昭和のような風景でとても感心した。

三十三月堂では、1001体もの仏像があってそれも等間隔で並んでいてすばらしいと思った。さらに先頭に立っている仏像は、木でできていると聞いてさらにビックリした。

二条城は昔からの木が雨でぬれ、フニャとなっていて年がとても経っていることを感じた。建物にさわるな、など書いてあったのでとても大切に保管されているのだと思った。

4組 中川香菜恵さん

私がこの修学研修旅行の中で一番印象に残ったのは、京都の薫りです。京都には鎌ヶ谷、そして千葉にない京都らしい薫りを肌で感じる事ができました。まずはじめに、西本願寺の阿弥陀堂の中にある285枚もの畳の薫りです。私には畳の匂いを感じる場所がなかったので畳の匂いはとても新鮮な匂い

に感じられました。私にとって阿弥陀堂の畳は心安らげる場所となりました。

次に京都の線香の薫りです。身近では感じることでできない薫りがかぐことができました。線香の匂いは少しやみつきになる匂いでした。最後に、京都の食べ物の薫りです。京都には古くから続いてこられた八つ橋の薫りは、ほんのりシナモンの薫りがついて、抹茶が粘り込まれてありとても良い薫りがしました。この3つの薫りが私が京都で印象に残った薫りです。

5組 高橋虎之助くん

五重の塔。五重の塔は、実際に見ると、とても大きく印象深かった。写真や国語の授業などでは見たが、思ったよりはるかに大きかった。木は、とても古く今にもくさって折れてしまいそうだがバランス良く立っている。地震で揺れないのか、と少し思った。頭の中で揺れるところを想像してみたが、わからなかった。もう1つ気になったのは、中はどうなっているのかとても気になった。ぼくの想像だと、真ん中には太い柱があって、木はとても古く、歩くとミシミシというのかなと思った。

五重の塔は、想像させることが多く、とてもおもしろかった。

6組 木村萌さん

一番、印象に残ったのは奈良。シカ、金剛力士像、あまりの迫力に息を飲んだ。そして、海外からの観光客の多さにも驚いた。私になにより嬉しかったことは、日本人ではない他の国の人々が嬉しそうに顔で日本の文化を写真に納めていたことだ。その時、私は日本人であることに誇りを持った。春日大社、若草山、どこを歩いても海外からの観光客の方がいて私は心はずませた。私はこの気持ちを形にして残したいと思い、海外の方と写真をとることにした。カタコトの英語で、「私と写真をとってもらってもいいですか？」と聞いた。「もちろんだよ。」と英語で答えてくれた。私は大きな一歩を踏み出すことができ、とても嬉しかった。日本人である私も、日本の文化は独特だし不思議なことがいっぱいあって、すごく素敵だと思う。その日本の文化を肌で感じ、もっと詳しく知り、海外の人に伝えたいと思った。

7組 菅谷萌夏さん

清水寺に行く途中に3つくらい坂がありました。雨の日だったので階段はすべりやすく人も多くて、登るのがとても大変でした。タクシーの運転手さんが「この坂で転ぶと三年以内に死ぬ」という噂があるんだよと教えてくださりました。とてもびっくりしました。なんだかリアルで。

清水寺で印象深かったのが、清水の舞台です。茶色の木造の建物は歴史を感じ、昔の人はこんな大きな今も残る建物を造り、すごいと思いました。景色や見晴らしも良くて心が落ち着きました。清水寺の敷地内を歩いているといろいろな物がありました。緑にそまっただくさんの木が雨にぬれてなかなか魅力的でした。この日は雨で最初の方は最悪だなと思っていたけれど後の方になって雨の日になかなか観光することもできないし、いい体験ができたかなと思いました。



『楽しかったね!』という思い出は、もちろんですが…目で、耳で、心で感じ、学んだ京都・奈良の歴史。そして仲間との絆、友情。時間・規則を守ることの大切さ、公共の場での過ごし方、周囲の人・物に思いやりのある接し方をすること、家族への感謝の気持ち…今後の学校生活に活かしていきたいと思います。

